

令和7年度「北海道・東北ブロックセミナー秋田」◆プログラム◆

【1日目】10月23日(木)

時 間	内 容
13:30～ 13:50	開会 挨拶(主催県経営協) 秋田県社会福祉法人経営者協議会 会長 丸岡 一直 挨拶(ブロック代表) 北海道・東北ブロック社会福祉法人経営者協議会 会長 宮城県社会福祉法人経営者協議会 会長 庄司 清典
13:50～ 14:10	来賓挨拶 秋田県知事 鈴木 健太 氏 秋田市長 沼谷 純 氏
14:10～ 15:10 (60分)	講演Ⅰ 「稲庭うどんの里から～伝統の息吹に「福祉」も乗せる地域づくり」 秋田県が全国に誇る稲庭うどんの老舗であり、今年で創業165周年を迎えた歴史と伝統を誇る佐藤養助商店。江戸時代から続く稲庭うどんの製法を継承し、インターネットが普及した現代においても時代に沿った事業を活発に展開している。地域に根付く伝統産業にも厳しさが押し寄せる中、時代とともに効率化を進め、「地元観光」とのコラボレーションによる交流人口を拡大、地域の活性化にも力強く寄与している。 その一方、佐藤氏は社会福祉法人の運営にも意欲を示し、地域課題の解決に力を注いでいる。伝統の技を引き継ぎながら地域づくりにも取り組む佐藤氏の講演を通じ、新たな視点を学ぶ機会としたい。 講 師 稲庭干温飰製造元 (有)佐藤養助商店 代表取締役 八代 佐藤養助 氏 (＜秋田県湯沢市＞社会福祉法人 いなかわ福社会 理事長)
15:10～ 15:30 (20分)	休憩
15:30～ 16:30 (60分)	基調講演 「社会福祉法人をめぐる課題と動向・全国経営協の取組み」 講 師 全国社会福祉法人経営者協議会 会長 磯 彰格 氏
18:00～	懇親会(※希望者のみ)

【2日目】10月24日（金）

時 間	内 容
9:30～ 10:30 (60 分)	講演Ⅱ 「地域の福祉を守り抜く人材確保戦略について(仮題)」 厚生労働省の試算によれば、2040年には全国で約57万人の介護人材が不足するとされており、とりわけ地方部ではその影響が深刻になると見込まれています。この喫緊の課題に対して、すでに多くの自治体や介護施設では人材確保に向けた取り組みが始まっていますが、なかでも注目を集めているのが「外国人介護人材の受け入れ」です。 制度の活用は進んでいる一方で、「文化や習慣の違い」や「地域・職場への定着の難しさ」など、さまざまな課題も浮き彫りになっています。受け入れの実情や課題は、施設の規模や地域によっても大きく異なり、単なる労働力の確保にとどまらず、継続的な人材戦略の構築が求められています。 こうした状況を踏まえ、本講演では、いち早く外国人介護人材の受け入れを開始し、介護分野にとどまらず、法人全体のグローバル化や多文化共生に先駆的に取り組まれている法人の実践から、持続可能な人材確保のあり方を学び、今後の経営に活かす視点を提供します。 講師 全国社会福祉法人経営者協議会 外国人介護人材特別委員会 委員長 濱田 和則 様（社会福祉法人 晋栄福社会 理事長）
10:30～ 10:40 (10分)	休憩
10:40～ 12:00 (80 分)	パネルディスカッション 「地域が持続可能であるために～外国人材活用実践」 秋田県における外国人労働者の数は徐々に増加しているものの、東北6県の中では依然として少なく、受け入れ体制の整備や支援のあり方に課題が残されています。今後、人口減少と人材不足が一層進む中で、地域が持続可能であるためには、日本人と外国人が共に安心して働ける環境を整えることが欠かせません。本パネルディスカッションでは、外国人材の受け入れに取り組んでいる法人や管理団体の実践を通じて、受け入れ体制の準備段階での工夫、文化や言語の違いによるコミュニケーションの課題、トラブル対応の実際、職場定着を促すための支援のあり方など、多角的な視点から具体的な取組を紹介します。 外国人材の活用における「成功例」だけではなく、現場で直面している「課題」と「改善策」にも焦点を当て、今後の戦略的な法人運営のヒントを得る場として、また外国人材の受け入れを検討中または開始したばかりの法人にとっては、外国人活用のあり方を学ぶ場として、実践を通じた議論を展開します。 パネリスト <秋田県鹿角市>社会福祉法人 愛生会 地域密着型特養はなわあいの 施設長 兎澤 隆伸 氏 ショートステイ事業所 介護職員 チェリー・アウン 氏 <秋田県大館市>社会福祉法人 成寿会 理事長 奥村 俊樹 氏 国際人材開発協同組合 理事長 鈴木 範 氏 司会 全国社会福祉法人経営者協議会 外国人介護人材特別委員会 委員長 濱田 和則 氏
12:00～ 12:15	閉会 挨拶（次期ブロックセミナー開催県） 北海道社会福祉法人経営者協議会 会長 高江 智和理 氏